巻頭特集 ろうそくの灯りが映し出すふるさと

サンクチュアリ竹灯り

毎年9月いなべ市藤原町のフィッシングサンクチュアリで開催される「サンクチュアリ竹灯り」。約2万本の竹細工に灯るろうそくが幻想的な風景を織りなし、見る人の郷愁を誘います。

11年続く秋の行事 今年は「ふるさとの秋」

マス釣りができるスポットとして県内外から利用客が訪れる、フィッシングサンクチュアリ。いなべ市藤原町で生まれ育ったオーナーの株式会社岡興産・岡巌社長は、「ふるさとに人が集まる場をつくりたかった」と開設のきっかけを話します。

シーズンを迎える10月に先駆けて開催されるのが「サンクチュアリ竹灯り」。その年々のテーマに合わせた竹灯りが会場を彩り、毎年約3000人が訪れます。

竹灯りは今年で11回目。「旅先で見た竹灯りに感動したのがきっかけです」と岡社長。1年目は2～3000本の竹細工に入れたろうそくを山の斜面に飾りました。「見学に来た女性が『こんな情景は初めて見た』と、感動しながら話しているのを見て、続けようと決めました」

10年目を迎えた昨年、節目を機に止めようと考えていましたが、数カ月前から「楽しみにしている」と、嬉しい問い合わせが殺到。「毎年たくさんの人が見にきてくれていることを考えると、簡単には止められない」と、岡社長は今年の開催を決意しました。

毎年、岡社長が旅先で見た風景や聴いた音楽から得たインスピレーションをもとにテーマを決定。11回目を迎える今年のテーマは「ふるさとの秋」。「藤原町の秋といえば彼岸花。咲き始めると空が澄み、このまちに秋の風が吹きはじめるのです」とほほ笑みます。

当日まで全力を尽くし ほとんど一人で制作

期間中は、ろうそくの光が優しく会場を照らします。池の周囲や山の斜面、駐車場など敷地全体に約2万本を設置。その半数を毎年新調しています。材料は、東員町の建設現場から譲り受けた廃材。カビを防ぐために約1週間乾燥させた後、切断し細工を施していきます。すべての工程を岡社長一人で担当。毎年、テーマを決めた後、頭の中のイメージを膨らませながら準備を進めていきます。

竹は内部に赤・青・緑のカラースプレーを吹き付けたものも用意。テーマに沿って、どこに何色を使うかを考えながら制作します。「やはり一番きれいなのは竹本来の美しい黄色。赤は人が生きる色、青は静かな色、緑はその中間のイメージで使います」。また、灯したときの光の見え方を意識し、切る角度や長さにも工夫を凝らします。

「制作は忍耐の一言。腱鞘炎になるほど腕が痛くなるときもありますが、ひたすら続けます」と準備の苦労を語りますが、最も大変なのは、並べる工程だといいます。会場の設計図はありません。社員たちがサポートするものの大半は自らで陳列。立体感や奥行きを表現しながら、約20日間かけて並べます。

イベントは雨天決行。当日の天候によっては、思ったとおりの美しさや景色が表現できないことも。直近の2年間は天候に恵まれず、悔しい思いをしました。「どんな結果になったとしても、ろうそくに火を灯す前までの過程全てに意味があると思い、精一杯準備しています」と話します。

フィッシングサンクチュアリ オーナー 株式会社岡興産
岡 巌 社長
イベントを続ける11年間で、竹細工の数やバリエーションも増え、制作のコツもつかんできました

暗闇の中で浮かぶ灯りの 温かみや揺れが情緒を誘う

イベント当日は、16時半頃から点灯ボランティアが集まり始めます。点灯式には、小学生を中心に毎年約100人が参加。約1時間かけて全てに火を灯します。

「会場が暗くなる日没頃から多くの人が訪れ、混雑します。地元の人にはぜひ早い時間から来てほしい。だんだん暗くなるなかで静かに浮かび上がる灯りは、風情があってとても美しいのです。点灯ボランティアにも参加してくださいね」と呼びかけます。暗がりの中に優しい光が浮かび上がると、火の温かさ、はかない揺れが幻想的な情景をつくりあげます。

浮き桟橋に設けられたステージでは、ライブイベントを開催。ステージの照明や飾り付けもテーマに合わせた竹灯りが中心で、三線やフォルクローレの音色が響き渡ります。

毎年訪れる人も多く、散策したり音楽に聞き入ったりと思い思いの過ごし方をして楽しみます。岡社長も会場を回って反応を伺います。「自分が追いかけ続けているきれいなものを感じたままに表現していきたい。つくるまではいろいろと考えますが、見てもらう人にあれこれ説明したりしません。見てもらって自分の心意気を示すだけです」とにこり。今年は見た人が自分のふるさとをそっと思い出す、そんな温かい風景が見られそうです。

暗闇の中で浮かび上がる灯り。照らし出される竹細工や彼岸花が幻想的な風景を生み出します

1_ろうそくの灯りそのものだけではなく、灯りが笹竹や周囲の自然に反射する様子も含め、会場全体が舞台に 2_ライブイベントでは、屋外ステージならではの音の響きを感じられます。初日には、地元の鳴谷山聖寶寺が経を唱え、魚の供養を執り行います 3_隣接するツリーハウスでのお化け屋敷や飲食物の販売などの楽しみもあります 4_制作途中の竹細工。4色の彩色のほか、竹を切る長さ、角度も工夫しています

Information

○点灯式ボランティア募集!
対象／小学生以上
（小学生以下は保護者同伴）
集合時間／16:30
持ち物／柄の長いライター
当日は、注意事項や火の付け方を説明した後、順に点灯作業を行います。足場が悪いところは大人が点灯するなど、安全面に配慮します。

○サンクチュアリ竹灯り
9月22日(土)･9月23日(日)
開催時間／17:30～21:00（入場無料）
会場／フィッシングサンクチュアリ
住所／いなべ市藤原町山口1872
電話／0594-46-8820
URL／http://go-sanctuary.com
駐車場／50台（無料）

フィッシングサンクチュアリには4つの池があり、初心者から上級者まで釣りを楽しめます

併設されるカフェは、釣り客以外も利用可能。こだわりのメニューが提供され、地域の憩いの場となっています

文／中村恵理子　写真／岡巌さん提供･青野穂波　デザイン／ABBEY ROAD